

## 第2回「名古屋競馬のあり方懇談会」議事録

日時 平成16年6月10日(木) 13:00 ~ 17:40

場所 名古屋競馬場 競馬場会館 2階 会議室

### 開会

座長より、傍聴人3名について報告。

農林水産部理事あいさつ

競馬組合副管理者あいさつ

### 議事

次第「2 第2回名古屋競馬のあり方懇談会の進め方について」

日程について座長から以下のとおり説明。

- ・懇談会の前半は競馬場の現地調査を行う。まず、この場で競馬組合から概要の説明を聞き、その後、競馬組合の案内で、2班に分かれて実施する。
- ・現地調査後、休憩し、午後2時25分頃から関係団体とのヒアリングを行う。ヒアリングの最初に事務局から団体の概要を説明し、その後、5団体、それぞれ30分程度のヒアリングを行う。途中、3時半頃から休憩を取る。
- ・報道機関の写真撮影については、ヒアリング前の関係団体の概要説明までとする。

次第「3 名古屋競馬場の現地調査について」

競馬組合から以下のとおり概要説明。

平成16年度開催成績及び平成15年度決算見込みについて

・本年度の現時点での開催結果は、5月28日までに4回20日間の開催。入場者の累計は133,660人。1日当たりでは6,683人。前年同期比90.4%。売上は累計で28億8,500万円余。1日当たり1億4,426万円。前年同期比84.1%で入場者数、売上とも大幅に落ち込んでいる。

・平成15年度決算の見込みについては、前回懇談会の報告数字を修正する。歳入について、大部分は馬券の売上収入で、15年度は26回136日の競馬開催で216億700万円の売上である。その他収入は、競馬場の入場料、競馬場・弥富トレーニングセンター内の店舗や宿舍の使用料、JRAからの賞金等の助成金・還付金などである。歳入計は、232億2,700万円で、前年度の82%弱となる。

歳出について、議会・総務管理費は職員の給与、事務費等の管理費である。職員の給与は愛知県の給与条例を準用しており、昨年度は管理職手当10%削減と副管理者給与2.5%カットを実施した。競馬経営費は、一番大きなものが、払戻金で馬券が的中した場合にその約75%を払い戻すものである。開催経費は従事員・パ

ートの賃金で、3億2,700万円、賞金諸手当で27億6,100万円、ガードマン、清掃関係、映像、馬券発売機の操作・保守、宣伝費、ファン用バス借上、光熱水費、その他諸々の経費で20億2,300万円を支出している。地方競馬全国協会交付金は売上金の約1.1%の1億9,500万円を支出している。その他負担金等は、馬主会、調教師会、騎手会及び厩務員会等に対する死傷馬や研修会等のための補助のほか、全国団体への負担金等で7億8,600万円を支出している。競馬経営費の合計は221億4,100万円、歳出全体の93.6%を占めている。施設管理費は、名古屋本場及び弥富トレーニングセンター内施設の保守・点検、修繕費で5億7,600万円を支出している。公営企業金融公庫納付金は売上金額の約1.2%の2億2,800万円を支出している。なお、公営企業金融公庫納付金は、赤字となった場合、翌年度に全額還付されている。予備費・公債費の内、公債費は、一時借入金の利子で、年間で4,800万円を金融機関に支払っている。予備費は執行していない。歳出合計は236億4,300万円。14年度との差引で、4億1,600万円のマイナスとなる見込みで、累積赤字も平成15年度末で、36億7,700万円となる見込みである。

愛知県競馬組合の耐震診断調査結果について

- ・平成15年度に、既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準に基づき、スタンドの構造耐震性の診断を実施した。
- ・診断結果については、一部不適当な箇所もあるが、それは、建て替えなどの大きな工事は必要なく、補強工事や外壁の一部張替えなどで済む結果となった。
- ・工事費等も設計、監理委託費を含めて約3億円の概算となっている。平成16年度から実施設計に着手し、順次、補強工事を行っていく。

現地調査のコースについて

- ・現在いる、競馬場会館の玄関を出て、バス通りに沿って歩き、中央の入場門から場内に入り、本馬場案内後、第2スタンド1階の馬券発売所、2階のグリーンホール及び3階の特別観覧席を案内する。グリーンホールは収容人員800人、利用料は500円。特別観覧席は収容人員475人で利用料は1,000円である。
- ・続いて、第2スタンドの2階から第1スタンドに、更に東スタンドを案内する。それから、1階に下りていただき下見所(パドック)を見て、東口からいったん場外に出て、駐車場を見た後、道路に沿って戻る。再度、中央入場門を通過して東側と西側の売店を見る。最後に、小公園から西通用門を通過して、競馬場会館に戻ることにする。
- ・案内は競馬組合職員で、2班に分かれて実施する。

質疑

: 委員

先程、15年度の決算見込みのなかで、公営企業金融公庫納付金が約1.2%で、赤字の場合、還付されるという説明でした。14年度も赤字であり、それは還付されていると思うが、どの経費に収入されるか。

: 競馬組合

歳入区分のその他収入になる。

: 委員

要するにいったん出して、戻してもらうということですか。

: 競馬組合

そのとおりです。

現地調査

( 順路 )

競馬場会館 入場門 本馬場 第2スタンド( 1F 投票所、2F グリーンホール、3F 特別観覧席 ) 東スタンド 下見所(パドック) J号駐車場 無料バス乗場 駐輪場 入場門 売店(東側) 売店(西側) 小公園 競馬場会館

( 参加者 )

- ・委員 10名( 2班に分かれて移動 )
- ・傍聴者 3名

いずれも競馬組合職員の案内による。

休憩

競馬関係団体からのヒアリング

各団体の概要及び関係の説明について、事務局から説明

・愛知県競馬組合の組織は、執行機関として管理者以下、それぞれの役職者がおり、また、監査委員、競馬議会が設置されている。また、職員数は16年度で38名。その内、県の派遣職員が2名。固有職員は36名。さらに、嘱託員19名、再任用職員2名。それから、臨時従事員として51名。順次切り替えて、パートタイマーにしており、その数は323名。

推移としては、昭和61年に競馬組合が設立され、その当時の職員数と現在の職員数を比較すると、職員は大幅に削減されてきている。職員数については、人件費の削減の関係で県の派遣職員を吸い上げて、現在は2名である。臨時従事員も61年当時は877名であったが、現在は51名という状況である。

・愛知県馬主協会は、設立が昭和24年。現在の組織は法人になり、48年に改組された。会員数は現在357名で、その資格については、個人の場合、法人の場合、それぞれ所得が500万円以上の方々となっている。

・愛知県調教師会は、設立が昭和38年だが、今年の5月11日に解散した。本日のヒアリングは元の役職者の方々と実施する。元会長は藤ヶ崎一男さんで、会員数は56名。資格は年齢が28歳以上の方となっている。

・愛知県騎手会は、設立が昭和38年。会長は戸部尚美さんで、現在会員が30名。資格は年齢が16歳以上の方となっている。

・厩務員の方は、東海地方競馬厩務員労働組合という組織であり、設立は昭和47年。委員長は岡崎好信さんで、会員は181名。資格は年齢が16歳以上の方となっている。

・全名古屋競馬労働組合は、設立が昭和34年。執行委員長は前川明美さんで、会員は51名である。この方々は、地方公務員法の単純な労務に雇用され、又は臨時的に任用された一般職の公務員とみなされている。資格は年齢が65歳までの方となっている。

・関係者の関連については、16年度現在で、馬主が357名、競走馬704頭。馬主は名古屋競馬場に所属して、調教師と馬の預託契約を結ぶこととなる。調教師は補佐も含めて56名である。1ヶ月の平均預託料は136,500円。その他、馬主賞金の10%が進上金として調教師に支払われる。馬主の預託を受けた調教師の業務は競走馬の調教管理等、所属騎手、厩務員の指導監督にあたることである。また、調教師の一人当りの所有馬は16.6頭で、最高30馬房、最低は10馬房という状況である。また平均年齢は50歳である。それから、調教師の所属として、騎手がいる。29名の騎手それぞれが所属契約を結んでいる。調教師側からすると、契約騎手のない調教師もいるが、最高は2名の騎手と契約を結んでいる。また、騎手には、馬主から、賞金の5%の進上金が支払われる。主な業務は調教師と騎乗契約を結び、競走馬に乗ってレースに出走することである。平均年齢は30.9歳という状況である。厩務員は、181名いて、調教師と雇用契約を結んでいる。調教師側からすると、最高9名、最低1名で平均3.5人の方と契約を結んでいる。また、馬主から賞金の5%の進上金が支払われる。業務としては、調教師と雇用契約を結び、競走馬の管理にあたることである。一人当たり平均3.9頭の管理を行い、平均年齢は42.3歳という状況である。最後に、全名古屋競馬労働組合の臨時従事員51名であるが、主たる業務は、投票業務を中心として、番組編成の補助や馬場管理、警備に携わっている。平均年齢は61.2歳という状況である。

基本的な賞金や給料以外、馬主から厩務員まで、それぞれ、諸手当が支給される。馬主は、レースに出走させる毎に、賞金がもらえる。名古屋競馬の場合、1着賞金が最低18万円から、最高4,000万円までとなっている。なお、1着賞金の平均は約60万円という状況である。その他、出走奨励金や所属馬付加金等も支払われる。それから、調教師、騎手、厩務員は、1～3着馬に与えられる奨励金や管理手当、騎乗手当、厩務手当が支給される。

(社)愛知県馬主協会からのヒアリングについて

#### 【馬主協会3名入室、自己紹介】

- ・馬主協会から以下のとおり概要説明。
- ・馬主協会は、県内で施行される公営競馬に協力をし、その円滑な遂行と健全な発展に寄与することを目的に、戦前から結成していた東海馬事会を母体とし、昭和24年愛知県競馬協会を組織した。その後構成会員の地域的な組織を拡張し、昭和38年愛知県馬主協会と改称、昭和48年に愛知県知事の認可を受け社団法人に改組し、現在に至っている。
- ・主な業務は、競馬の賞金・諸手当と競走馬の預託料の交渉、関係団体との連絡調整である。15年度末の会員数は357名、役員数は理事以上が21名である。
- ・協会からみた競馬の状況、問題点、改善策について、状況としては、愛知県競馬組合が発足してからの売上と賞金、出走手当、着外手当、弥富トレーニングセンターの

馬房数、基本預託料、会員数を調査すると、いずれも下がっている。

・また、15年度を売上規模が同程度の昭和43年度当時と出走手当、預託料等を比較し、同じように、16年度を昭和42年度との比較すると、賞金もアップはしているが、基本預託料も増えている状況である。

・問題点については、売上の低迷に歯止めがかかっていないため、賞金、諸手当の大幅カットについて、協力しているが、それによって、競走馬が流失し、昨年度に比べて120頭減っている状況である。

・改善策として、6項目考えている。 ナイター競馬の実施、 J R A G 競走の発売、 ミニ場外の設置、 弥富町への補助金の見直し、 農水省のブロック化及び本場移転の問題、 国レベルでの取り組みであり、今まで、関係各所にもお願いしてきた。

・特に、ナイター競馬については、昭和24年から地方財政に寄与してきた名古屋競馬の火を消さないため、今年秋に開業される、あおなみ線により名古屋駅からの交通アクセスが格段に向上する、この機会に、国、県からの一時借入金を含めた財政支援も期待しながら、20年来の希望であるファン層が大きく入れ替わるナイター競馬で再生への最後のチャンスを与えてもらいたい。

・委員の方々には、大井ナイターが周辺と一体となったレジャー産業として、レストラン、ショップ、新スタンドで成功している姿を是非、見に行ってもらいたい。

・このまま、有効な手を打てず6大都市の名古屋において、競馬がなくなることがあれば、関係者の雇用問題ばかりでなく、本県より規模の小さい地方競馬に連鎖するのは目に見えている。

・その見地から賢明な判断をお願いしたい。過去、競馬組合が打つ効果的な施策は何らかの制約を受け、実施できず、売上が縮小してきた歴史がある。懇談会の委員の方々に、競馬組合に強力な推進力を与えてもらいたい。

質疑

: 座長

この懇談会は名古屋競馬の存廃を含めた検討をしている。今後、その点につき、協会としてどのようにしたらよいと考えているか。

: 馬主協会

昭和61年頃、大井でナイターが実施され、愛知県馬主協会も、その当時から強くナイターを要望、提案してきたが、なかなか実施できなく、現在に至っている。

本日、ご覧いただいたように、客は昼間開催では高年齢層の方が多い。蒲郡競艇ではナイターを実施しているが、先週の日曜日では3万人程度の入場者であった。やはり、昼間開催とは相当の開きがある。

私たちは、先日、地元の諸先生に同行いただき、大井のナイターへ視察へ行った。イルミネーションももちろんだが、若い層の客がたくさん来ていた。是非とも、この機会に、委員の方々に大井のナイター競馬に行っていただき、ご一考をお願いできたらと思う。

また、私たちも長年、競馬人としてやっていると、中学を卒業して夢を持って騎手になった方々が、朝3時頃から調教をつけている姿を見ていると、ここで、この火を消し

てはいけないという思いでいっぱいである。今日は何が何でも、良い方向性を打ち出していただけたらと思っている。その意味でも一度、大井のナイトーを見てもらいたいと思う。

: 委員

先程の説明で、昭和61年に大井のナイトーに触発されて、名古屋でも開催したかったが、今現在もできていないということだが、基本的になぜできなかったかを詳しく説明してください。

: 馬主協会

愛知県競馬組合が弥富トレーニングセンターを作り、本場移転構想のあった昭和50年代頃から売上が落ち込んだ。原因は、マスコミ等が中央競馬を新聞やテレビで大きく宣伝し、土日の客を中央競馬にとられてしまい、土日に開催すれば、赤字になるという状態になったためである。

このため、57、58年当時に懇談会を開催し、この席で存廃について議論され、私どもも真剣に考え、何とか、中央競馬に対抗するという手段として、ナイトーはどうだろうということ、愛知県馬主協会からナイトー競馬の実施について陳情した。

ところが、農水省の規定により、日没30分前までに終了しなければならなかったので、ナイトーが実施できるよう、当時の全馬連会長へブロック会議を通じて愛知県から提案したところ、農水省から許可がおりた。

それから、ナイトー開催につき主催者をお願いしたところ、たまたまその当時、周辺の3学区は賛成していたが、1学区の反対があったために実現できなかった。その後、何度もお願いをしてきている。また、当時、反対だった学区も人材も替わったことから、何とかお願いしたいということをお願いしてきたが、なかなか実現してもらえなかった。何とかしたいという思いで20年が過ぎてしまった。

現在、周辺住民もスーパーがたくさん出来てきたという状況から、当時のような反対はないと思っている。ナイトーが決定すれば、周辺住民のお願いに我々も同行するし、何とかナイトーをやりたい。今までの経緯は以上である。

: 委員

当時、1学区の反対があったということだが、反対の理由はどのようなものか。

: 馬主協会

駐車場が混雑するのではないかと、教育のために良くないのではという意見があったと記憶している。

: 委員

3点伺う。今後もいろいろな形で笠松との関係が深くなっていくのではないかと考えているが、馬主さんとして、笠松との共通化や一体化に関してどのように考えているのか。

2つ目は、10年前と比べて、賞金と手当の関係をみると、どうしても手当の方が増えている。ファンの共感を得るといふ点からみると、むしろ賞金の比率を高めないといけない。手当は互助みたいなものだから、一気に減らすことはできないと思うが、このような方向にもっていくという事に対して、どのように考えているのか。

3つ目は、馬が減ってきている中で、特に若い馬、2歳馬の減り方が激しい。ファン

へのアピールということになると、新しい馬が入ってきて、勝ち上がっていくのが大きな魅力と思うが、こういうことをすれば、2歳馬が増えるのではないかという考えがあれば伺いたい。

: 馬主協会

笠松との交流は、以前は頻繁に行われていたが、売上が非常に盛んだった頃、岐阜県から単独で開催できるようにという要望があり、交流が一時途絶え気味となった。

それが、ここにきて売上が悪くなってきたので、単独では成り立たず、両県で交流を行っている。これは、ひとつに馬主経済の問題がある。すなわち、賞金・諸手当が非常に落ちてしまった一方、預託料は変わらないという状況で、馬主が莫大な赤字に陥り、維持ができないため、名古屋が休みの時は、笠松へ出張してでも賞金を取りにいかないと食っていけないという状況である。だから、愛知県でも1,000頭を超える馬がいたが、今では、700頭そこそこになってしまった。これでも競馬ができるどころか、未だに、出走を申し込んでも、馬が多くて抽休で、休まされる制度が多々みられるのは、笠松からも大挙して馬が来るという状態のためです。

賞金・諸手当については、我々も、本来であれば賞金に重きを置いてやりたい。ただ、賞金がどんどん下がってきて、また売上が落ちるとなると、賞金だけ下がるわけではない。例えば、預託料がおおむね月に20万円かかると、出走手当10万円という線であれば、最低2回使えば何とか多少の赤字で維持はできる。月に2回使えば、20万円になり、そこそこ10万円を確保したいというのは、馬主からの要望もあり、その線を維持してきた。しかし、ここにきて、賞金カットだけではどうにもならないということで、出走手当も10万円から半額の5万円に落ちている。

次の質問にも関連するが、このような状況では、2歳馬がなかなか買えない。馬主も夢を持っている以上、新馬に夢を賭けたいのは最高の馬主の夢であり、残念ながら現状では、新馬がなかなか買えないという状況である。

: 委員

名古屋競馬を存続するためにナイターを導入しなければならないという方向でいったときに、例えば、住民が反対してしまったら、そこで止まってしまう。そうすると、住民の同意なり、住民がナイター競馬をやってもいいという理解が必要となるが、これまで、10～20年なりの間に地域の住民と何か対話なり、交流、コミュニケーションを定期的にとる機会はあったのか。

: 馬主協会

この件については、最初ナイターをやるという目的で、主催者も一生懸命力を入れて、昭和60年前後だとは思いますが、この時には、我々も付いて地域住民の方にお願ひし、その後、地域の代表の方がバスを用意し、大井ナイターも見学していただいた。しかし、反対者がある以上、県は行えないということがネックとなり、それ以降、主催者はやらなくなった。我々が音頭をとってやるわけにはいかないので、主催者には、再三お願ひしたが、主催者も今の現状ではだめだということで、そうならば、本場移転も考えてくれというようなことも陳情してきた。

ナイターについては、それ以後、状況については、いろいろ伺っている。反対のあった学区の先頭に立っていた人が替わったという状況も掴んでいるし、今なら、たぶんい

けるという心証も掴んでいる。ただ、これも我々が最初に動くと、過去に釘の掛け違いがあったような事になるので、主催者が主体になってやってもらい、我々はあくまで手助けであるという状況で現在に至っている。例えば、今日、委員から、一度ナイターをやってみるという意見でも出れば、主催者は動けると思う。その時は、我々も目一杯、応援したいと現状では思っている。

: 委員

馬主協会としては、競馬そのものの目的を、どのように理解されているか。

: 馬主協会

公営競馬は、戦後の都市の復興と畜産の援助という目的で行われ、何十年かはこれに沿って期待に応えてきたが、その後、競馬そのもののあり方が問われる時期がきた。昭和57、58年頃だったと思うが、その頃から我々も今後どうしていくのかというような事をいろいろ議論もし考えてきた。やはり、この地域におけるファンは無視できないので、何とか続けてやってきた。

もう1つは、馬資源の確保という点からいくと、地方競馬が全部無くなってしまうと、中央だけでは成り立たないという生産者等の話も伺った。何とかここまで戦後からやってきて、これを続けたいのが、我々馬主の一貫した思いです。ですから、ここ数年来、5億円前後の賞金・諸手当のカットを5年間続けて吞んでいる。それでも、競馬を存続するか廃止するかという二者択一を突きつけられても、とにかく、競馬存続のためには何とかやっていこうという思いです。

: 委員

今、この競馬場の姿、形を見た時に決して、住民も名古屋市民もレジャーをする、何か余暇活動をする、癒されるとか健康的によろしいとか、環境的によろしいという印象は受けないと思う。それは、今日に始まった事ではなくて、例えば平成9年にコンサルにお願いした段階で、既にそのような事には気づいていたと思われる。今まで、あまり何もやってこなかったという事実があるのではないかなと思う。

陳情ばかりしているのではなく、こういう場合、馬主さんとしては、何かできることがないですか。ナイターをやりたいがために地域に対して、名古屋市に対して、愛知県民に対して、何かアピールをするという事とか、イメージを変えていく事とか、努力してきた事が、もしあれば聞かせてください。

: 馬主協会

我々としては、何とか、誰でも気軽に来れるような所にしたいと思い、昭和57、58年当時に、提案したのは、今の古くなった第1スタンドを建て直して、そこへ例えば、1階は都ホテル、2階はキャッスル等へ貸して、そのホテルの料理を出してもらおうということで、事実、ホテル等にも話をさせていただいたが、最終的には主催者の問題で、それはできなかった。ただ当時、主催者もイメージアップをしたいということで、計画を組んだ事はあるが、実行はされなかった。このように、思いと実行が伴わない状態が続いている。悪いイメージはなるべく与えないようにと、騎手とファンの交換会等、いろいろ手がけてやっているが、今一つという感じである。

: 委員

今、主催者の事を言っていたが、馬主さんと主催者は仲が悪いので、主催者の方は馬

主さんの意見を聞いてくれないのですか。

: 馬主協会

愛知県から、副管理者という最高責任者が派遣されるが、残念ながら、競馬は見たことがない、馬券も買ったことはないという方が殆どである。こういう人たちによって運営されるという事、しかも、任期が3年くらい。そのため、我々はテープレコーダーのように人が替わるたびに同じことを話さなければならない。1年経つと馬主はこういう事を言っているのかと分かってくるが、分かった頃に次の異動が近づくと、次の人にといいことで、事実は分からないが、これの繰り返しである。できたら、本当に一人でもここで、骨を埋めていただくような人に来てもらい、本当に競馬のためにやってもらえればと、ずっと思っている。

: 委員

収益が上がっていた頃には積極的だったように思うが、下降線をたどった途端に、公益事業であるがために積極性が萎えてくる。それはどうしてだと思いますか。

: 馬主協会

主催者は、赤字になれば責任がある。赤字でも他の関係者は固定費が殆どなので、一番なぶりやすいのが、馬主の諸経費です。5%売上が落ちたら賞金は10%くらい。昨年のように20%売上が落ちたら、賞金は30%カットされるというように、これの繰り返しで何とか最終的には数字を合わせなければならない。主催者にしてみれば、当たり前の事かもしれないが、これが現状である。

【馬主協会3名退室】

【調教師代表4名入室、自己紹介】

- ・調教師代表から以下のとおり概要説明。
- ・JRAも地方も仕事の内容は大差ない。朝は早い人は2時頃に起き、調教を監視する。それから途中、心配事があれば各厩舎に戻って、馬のチェックをする。普段は、騎手の監督、また厩務員に馬に関する指示を与えたりする。競馬のない時は、馬主さんの所に足を運んで、馬を買っていただくようお願いしている。また、時間があれば、北海道に馬を見に行くこともある。

質疑

: 座長

現在の名古屋競馬の状況について、調教師としてどのような見方をしているのか教えてください。

: 調教師代表

良い時と比べて3分の1強ぐらいの売上に落ちた。確かに、賞金・諸手当は下がり、私たちはそれによる歩合で生活しているので、調教師としても生活状況は、大変厳しい状況下に置かれている。

昨今、あちこちで存廃問題が出て、全国で4カ所ほど止めたところもある。今、世間がこういう状態なので、確かに止めるというのは簡単だとは思いますが、他の公営競技と違い、競馬の場合はこれに携わっている人数が大変多い。競輪、競艇の選手は個人だが、競馬は馬1頭に対し調教師、騎手、厩務員、馬主さんと大変多くの人数が関わっている。

止めるという話になると、高年齢の人もいて、生活していくのが大変だと思う。私たちとしては、競馬を続けて行ってほしいと切に思っている。

: 委員

調教師会が今年の5月11日で解散された。解散した理由は何ですか。

: 調教師代表

賞金・諸手当の27.4%のカットということがあった。私たちは、馬主さん1頭に対して、預託料という名目で、人件費、飼料代等、長い間、馬主協会と団体交渉で、決めてきた。

しかし、今年に関しては、馬主さんから、預託料の大幅カットをしてほしいという提示を受けた。それで、厩務員会さんとも何回も団交を重ねたが、あまりにも開きが大きい。厩務員会さんとは労働協約とか協定等結んでいる。その中で、私たち調教師は弱い立場で、馬主会さんから提示された額を厩務員会さんと団交して、それが気に入らないと何回でもあちらこちらにいった話をしなければならない。その中で、厩務員会さんはあくまでも現状維持。馬主会さんは1頭に対して3万1千円負けよという話だった。

このままでは、到底話し合いの決着する目処が立たず、また、4月から賞金・諸手当のカットがあったので、このままでは、馬主さんがどんどん逃げていってしまう。今は、インターネットも普及しているので、金沢や園田、岩手がどのくらいの預託料で、賞金がどれくらいか、着外手当はいくらかということを計算し、いずれは、馬主さんがどんどん流失してしまう。このままでは調教師が本当に手を上げなければいけないということで、会を解散して、調教師個人が自分に馬を預けている馬主さんと預託料の交渉をする。給料も厩務員と直接交渉してやっていかないと、暗礁に乗り上げ、何とも解決の目処が立たないので、一度、調教師全員が集まって、そういう説明をしたところ、解散しようということになり、5月11日をもって解散した。

: 委員

預託料は現状維持でやっていくのですか。

: 調教師代表

それでは、馬主会さんから馬が流失するので、5月11日までに厩務員会に通告するのは30日経たず、これは、労働基準法違反なので、4月、5月は今まで通りの額を払った。ただ、4月については、馬主会さんから了解をもらって今までと同額の預託料を頂いた。ただ5月分については、各調教師が馬主さんが逃げないように自腹を切った人もいる。

: 委員

馬主さんは、比較的自由に、いつでも止めれるが、調教師さんや騎手の方は止めても行くところがないのが現状です。そういう点で、例えば、平均年収はどれくらいですか。預託料だけでやっていけるのですか。

: 調教師代表

全国的に預託料だけで、調教師は100%生活していけない。全国の統計をとると、名古屋の厩務員に払う人件費は南関東の次に高い。逆に、わたしたちが頂いている預託料は、九州の次に安い。だから、調教師は苦しい立場です。

: 委員

調教師一人当たり平均16.6頭ということであるが、ピークの時ほどのくらい管理していたのか。

: 調教師代表

トレセンに移った時に、1,160頭。ただ、調教師も66人いた。

: 委員

現状では、馬房はかなり空いていると思うが、70%くらい確保できているのか。

: 調教師代表

現在、調教師51人に割り当てている馬房が883頭です。実質的には700~680頭ぐらいで、140~150の空き馬房がある。

: 委員

出走可能頭数は12頭だと思うが、10頭立てのレースが多いのは、馬数が揃わないということなのか。

: 調教師代表

ここは、トレセンから運んでくる輸送料、それから、本場とトレセンの両方で経費がかかる。馬の環境のためには大変良いと思うが、主催者さんが12頭走ることによって、輸送代が2頭分余分にかかる、それから、手当を2頭分余分に出さなければいけないので、特殊なレース以外は10頭ということで、主催者さんが決めたことです。

: 委員

厩務員組合との関係は労使関係になり、そうだとすると、各調教師さんが個人経営者として何人かの厩務員を雇っているのか。

: 調教師代表

そうです。

: 委員

調教師会があった時、会の任務は何であったのか。

: 調教師代表

調教師会は別に団交だけではなく、いろいろ役目があって、例えば、会員相互で主催者さんに話をする時でも調教師会でいったん、まとめたもので主催者さんと話をしたりした。

厩務員組合さんとは団交をして、給料を一律としてきたが、これは、馬主会さんとも話をしたなかで、両方了解のもとで行われていた。

ただ、こういう時世になり、馬主会さんもたいへんきつい事を言ってきた。また、厩務員会さんも給料が下がるということに気持ちよく返事ができるものではない。けれども、こういう時期だから、私たちも、馬主会さんから、いろいろ言われて団交したが、平行線でとても目処がたたない。はっきりいって、預託料にはほとんどサヤがなくて、私たちは赤字の感覚でいる。その中で、馬主会さんから3~4万円引けと言われても、受ける方も生活をしていかなければならないので、1ヶ月に一人のもらうお金が9万円ということでは、一時金も少なくなってきたし、大変厳しいと思う。他方、厩務員会としては、あくまでも現状維持だということでは、どこまでいっても交わらない。

会があれば団体交渉はしなければいけないし、そういう中で、調教師が全部集まって、話をしたところ、各厩舎で馬主さんにも、厩務員とも個人的に話を決めてほしいという

意見で全員一致した。ただ、ここできちんとした線を出さないと、馬がどんどん流失してしまって、調教師も厩務員も失業者が出てくるので、やむを得ずこのような事になった。

: 委員

厩務員の側は、これまでは団体交渉で自分たちの所得が決まっていたが、これで団体交渉はあり得なくなったわけだが、今後の展望について、労働基準法第20条を引用したが、1ヶ月以降においてはどのような態度を厩務員に対してとる方針なのか。

: 調教師代表

各厩舎で馬主さんと預託料を交渉し、その馬主さんと決定した預託料に基づき、厩務員とも各厩舎で個人的に話をしていくことになる。

: 委員

競馬は勝ち負けがはっきりしていて、勝った馬の関係者には賞金、その他で見返りがあり、良い成績を残せなければ、見返りも少ない。そうであれば、当然、途中過程の預託料や、厩務員さんの給料も一律ではなく腕によるものにする事等が、ある意味では本来の姿ではないかと思う。今後、労働協約や団体の協約に守られた世界から、本当の意味での実力の世界に移っていくということに対して、どのように評価されているのか。

: 調教師代表

実力の世界で給料を決めていくのは自然の姿だと思う。ただ、私たちも、できることなら自分の所で使っている厩務員には、何とか生活が楽にできるようにと、いろいろ、努力はしているつもりである。

これは極論だが、調教師個人の立場から言えば、手当なしで、全部賞金でも構わない。元々歩合であり、馬主会さんには怒られるが、競走の原理だから、手当なくて、全部賞金に跳ね返していただいても結構です。ただ、今は、中央競馬も地方競馬もおしなべて、中小企業の方が馬を持つ率が減っている。持てる人にしか持てない状況である。

地方の人は、また地方競馬のローカル性がある、また、戦後から始まった競馬の文化というものもある。競輪、中央競馬と違い、キングオブスポーツと言えるかは分からないが、こういう流れでやってきて、大変親しんでもらっている。当時は、調教師としても、馬はいくらでも入ってくるから、ひとつでも馬屋がほしいとなると、収入に跳ね返ってくる。現実に150近い空き馬房があると、調教師さんの能力に馬屋が埋まるかどうかかかっている。空いた馬屋に厩務員を雇えば、給料を払い、また、厩舎料も払っていかねばならない。主催者さんにもお願いして、自分で持てない馬屋は返納したいという希望を聞きながらやっている。また、競馬が良くなれば、自分の所で抱えている厩務員だから、少しでも給料を上げてもらいたいと馬主会さんにもお願いしてみようと思っている。

最後に、馬主会さんから話があったと思うが、先月、22日に地元の議員さんと馬主会さんと調教師と専門誌の社長さんで大井のナイター競馬へ視察に行ってきた。確かに、名古屋に大井ほどの施設を設置するのはなかなか難しいことである。ただ、大井は大変立派な施設を持っているが、大井も現在1年中ナイターをやっているわけではなく、昼間の開催もある。ただ、昼間の客層とナイターの時の客層は180度違う。また、昨年、蒲郡へ視察に行き、いろいろ話も聞いたがその中で、大井だけが夜型人間ではなく、

蒲郡でも、昼間の客は5時半から6時までに帰ってしまい、それからは、ワイシャツ姿のサラリーマンが来るというように、客層が180度違っていた。一度、大井のナイターを視察に行っていただくようお願いしたい。

【調教師代表4名退室】

15:45

～

【休憩】

15:55

【東海地方競馬厩務員労働組合3名入室、自己紹介】

- ・厩務員組合から以下のとおり概要説明。
- ・来年や再来年の話ではなく、我々は今をどうするかということが重要です。今日、競馬場を視察した時に、鉢巻と腕章をしているのを見たと思うが、現在、我々は抗議行動を行っている。というのは、調教師会の一方的な解散、懸案事項を残したままの我々との団体交渉の拒否、また、主催者に対しても、調停に入ってくれと何回かお願いしたが、自分たちの仕事ではないと言われた。トレセンは無法状態です。

賃金に関しては、手取り月12～15万円と調教師会が言ってきている。それ以外に不当労働行為、組合潰しや団体交渉にも応じない。また、一方的な雇用契約書、賃金契約書を作成し、それに署名、捺印しなさいと、もし、しなかったら解雇だと言われている。さらに、組合を脱会しても面倒を見てやるとか、組合の大会等行事に出るなど、完全なる不当労働行為が行われている。

今、言った事は、弁護士を通じて地労委へ申し立てしている。先程も言ったが、今を何とかしたい。新しい雇用契約書に署名、捺印しなければ、7月から来なくていいと言われている人間が180名中100名もいる。その100名は7月から仕事ができなくなる。まさに、競馬がやれるかどうか瀬戸際の状態である。

質疑

: 座長

この懇談会は名古屋競馬の存廃そのものを含めて、審議をしているところであるが、このような事について、厩務員組合としてはどのように考えているのか。

: 厩務員組合

我々は特殊な仕事で、なかなか他の仕事はできません。ですから、できれば存続してほしいと思っています。

: 委員

名古屋競馬をどうしたら良くなるか、どうしたら存続できるのかという考えがあれば、聞かせてください。

: 厩務員組合

生き残するにはブロック化とナイター競馬の早期実現だと思う。早期といっても、来年くらいにはやるしかないと思っている。

ブロック化については、現在、馬の頭数も700頭を割り、今後も減り続ければ、名古屋だけでは競馬ができない状況になるので、笠松と2場で1つの競馬場になれば良い

と知っている。

: 委員

ナイターの話が出たが、厩務員の方からすると、ナイターをやると、逆に労働時間が長くなるのではないかと思う。その場合に、厩務員の数を増やすのか、それとも、現状で大丈夫なのか。

また、馬の性格はよく分からないが、馬は夜行性ではないと思うので、ナイターは自然に逆らう事をやるように思えて仕方がないと思うが、どうでしょうか。

: 厩務員組合

存続のためなら、労働条件が厳しくなっても仕方がないと思っている。

それと、馬については、トレセンにおける馬の調教は、朝2時半の暗い時間から、照明をつけて行っているの、ナイターで馬に負担はかからないと思う。

: 委員

現在の労働環境としては、朝2時くらいから始まり、昼頃までやるのか。

: 厩務員組合

攻め馬をする前に、我々は馬の鞍をつけたりして、前運動を30～40分行うので、早い人だと朝の1時半過ぎには厩舎に出ている。

8時か9時頃に終わり、昼の餌をやって、その後、1時くらいから午後の運動を行う。そして、夕方、3～4時過ぎに夜の餌をやるというのが1日の仕事です。

: 委員

それでナイターが入ると、1日拘束されてしまうことになるが。

: 厩務員組合

他場でもやっているの、他場の厩務員から話を聞いたりしてやっていくことになる。まだ、現時点ではどのように行うかは分からない。

: 委員

ナイターをやる時に地域の方の理解が得られるかどうか問題になっている。そうすると、住んでいる方が地域の方と仲が良くないと、まずはいけないと思う。

競馬場について、施設は、皆存じていると思うが、ただ、そこで働いている方や、そこで生活をしている方の理解が届かない。だから、ナイターに対する反対の運動や、競馬場に来る人たちの人間の質に対して、とやかく言われてしまう。したがって、一方で、このような面の理解を得ていかなければならない部分があると思うが、どうでしょうか。

: 厩務員組合

それは難しい。ただ、振興策はナイターしかない。近くの住民の理解を得ることができなければ、名古屋競馬は終わりということです。

: 委員

ナイターの問題は、昔から、皆さん言ってきている。それについて、努力の成果がほしい。

: 厩務員組合

それは、我々にはできない。住んでいる所も違うし、それは、県や主催者の問題だと思う。ただ、我々UIゼンセン同盟愛知一般同盟の仲間はこの近くにいると思うので、そういう人たちに話是可以る。

: 委員

厩務員の方たちで、何か問題提起をされたりする時、地域の方たちへ理解をしてもらうため、仮にイベントみたいなものを厩務員でできないだろうかとか、考えてはいないのですか。

: 厩務員組合

10年くらい前に弥富のトレーニングセンターで、模擬ナイターというお祭りみたいなことを行ったことはある。

: 委員

この労働組合の方たちはメンバーが181人と一番多いです。この競馬場を支える方としては一番多いから、その人たちが、若干の動きでもしたなら、地域のイメージにも何か効果があるのではないかと考えているが。

: 厩務員組合

あると思う。それで、10年前にやりましたが、それきりです。

: 委員

継続してそのような事を行うことは、自分たちの組合活動の一つに入っていないのですか。

: 厩務員組合

いろいろ考えてきたが、今は考える余裕がなくなった。明日をどう生きようとか考えていないので。

: 委員

すでに廃止された競馬場があるが、そこに勤めていた厩務員さんは、今どのようにされているか、情報はありますか。

: 厩務員組合

一番最近で、昨年11月に廃止された、山形県の上山競馬では、140名くらいの厩務員がいて、70名くらい就職が決まったが、それ以外の人は決まらなないと聞いている。馬に触る仕事しかやったことのない人間が他の仕事に就くのは、なかなか難しい。また年齢も関係してくる。

: 委員

転職される場合は、競馬の関係に転職できるものなのか。

: 厩務員組合

できれば、そういう仕事に就きたいし、他の競馬場で使ってくれる所があれば、当然、みんなそこに行きたいと思う。

: 委員

山形以外の競馬場はどうですか。だいたい同じような状況でしょうか。

: 厩務員組合

中津にしても、新潟、益田にしても同じような状況です。

: 委員

先程、馬の数は1,160頭いた時があり、それから、1,000頭に減って、現在、680頭程度と聞いたが、厩務員の方の人数は、同じような形で比例的に減っているのですか。

: 厩務員組合

1,000頭ちょっといた頃は、360名程度いた。やはり、馬の頭数によって、厩務員の数も減っていくというか、減らざるを得ないという状況です。

: 委員

馬の頭数の減り方よりも、厩務員の方の人数の減り方のほうが急なように思えるが、どうでしょうか。

: 厩務員組合

そうかもしれません。賞金・諸手当が良かった頃は、調教師さんが自分で我々厩務員の仕事をやらないで済んだが、ただ、厩舎経営が苦しくなっているので、調教師も自分で馬の世話をしないといけない。1人の調教師が2頭やれば、50人いますから100頭。100頭といえば、厩務員が30人いらなくなる。それが影響して、馬の減少より厩務員の減少の方が多くなります。

: 委員

1人の厩務員の方が面倒をみる馬の最適数は何頭ぐらいでしょうか。

: 厩務員組合

いちおう3頭が基準です。

: 委員

現状は、3.7~3.8頭だから、ちょっと多いのでしょうか。かなり1頭当たり貰えるお金が減っていると思うが、厩務員の方の気持ちとしては、多少面倒をみる馬の数が増えても、所得的な保障があった方が良いのか、それとも、実務からいって、1人当たり面倒を見る馬の数に制約があり、手一杯の状態でしょうか。

: 厩務員組合

この3年いろいろなカットを受けてきて、3頭でも今、家族持ちは生活できない状況です。ですから、4~5頭やってしのいでいます。

: 委員

この意見書をさっと拝見したが、あなた方は雇用を維持できるかどうかの瀬戸際にあるわけです。これまで、調教師会と団体交渉をされてきた。それが、突然解散してしまって、団体交渉の主体がなくなったわけで、その事を今、労働委員会に不当労働行為と訴えている。それはそれで労働委員会が結論を出すでしょう。

確かにそういう側面からいうと、突然の解散は非常に大きい問題だと思う。これまで馬主協会とあなた方は自分たちの労働条件について話し合いを求めたことはないのですか。

: 厩務員組合

それはないです。あくまでも調教師との労使関係です。

: 委員

そうではなく、労働法的にみると、調教師あるいは調教師会そのものが当事者能力はない。実際にあなた方の収入の根本を握っているのは馬主協会です。そうすると、団体交渉を要求して拒否すると、それこそ不当労働行為となる。理論的にはそういうことで、あなた方が属している労働組合が交渉することもできるのだから、そういうことも検討されたらよいと思う。あなた方が訴えていることは、私どもは真剣に受け止めて、議論

していきたいと思っている。

: 委員

既に止めた競馬場での止めた方々への補償はやられているのか。また、やられていたら具体的にはどのような補償があったのか。

: 厩務員組合

上山の場合、上山市から見舞金という形で平均179万円厩務員へ支給があった。それ以外には、上山は、名古屋と同じように雇用保険に加入していなかったため、2年分遡ってまとめて払い、3ヶ月分ないし半年分貰える形をとった。この4月から、名古屋も雇用保険に加入した。

: 委員

他の競馬場も見舞金という形で決着しているのか。

: 厩務員組合

他の競馬場もほとんど見舞金という形で、自治体から貰っている。

: 委員

存続か廃止かについて議論する懇談会ができた時に、厩務員組合が調教師さんとうまくいかないというのは、本当にマイナスです。馬主さんは調教師さんに対していろいろ言ってきて、調教師さんはそれに腹を立てて、今度は厩務員さんがあおりを食っている状況です。

やはり、これから先、皆さんが力を合わせて、何とか名古屋競馬を盛り上げて行くには、やはり、調教師さんと厩務員組合が協力しなければならない。当然、調教師さんに対して強く反省を求めることが必要だと思う。

先程、皆さんに何かやれることがありますかという質問に対し、今までは考えてなくても、やはりこれから、地元の人たちの協力を得るように、厩務員組合や調教師会とか、馬主会ががんばっていかないと駄目です。確かに県が主催者ですが、やはり、皆さんがやる気があるかどうかで委員の方や地元の方の賛同を得られるのではないかと思います。

大井でも川崎でも蒲郡でも競輪場でも、ナイターをやればお客さんは入りますし売上も伸びます。それにはどうしたらよいか。地元の協力を得なければいけない。ならば、競馬が終わった後に、夏だったら地元の人たちを呼んで、厩務員組合や騎手会、調教師さんが何か普段からやっていくことが必要です。もちろん、主催者の承諾を得なければならぬが、こういう姿勢がないと駄目です。今、ここで死活問題がでてきて、首をきられるかどうかと言うことになってしまうと、こんなガタガタしている所だったら、やめたほうがよいという声になってしまうと思う。そういう意味で、調教師さんも厩務員組合も反省して、何とか今までやってきたことを続けていきたいということを強く出してほしいと思う。

私も上山とか、中津や新潟の廃止になった競馬場の厩務員さんを知っているが、止めた後は大変です。他へ行って、朝2時起きして、1人で5頭の世話をしても生活していけるかどうかの瀬戸際です。やはり、自分たちがやってきた所を守っていかなければならない。そのためには、やる気が必要です。私が一番言いたいのは、皆さんにやる気があるかどうかということです。そういう意味で、関係者のヒアリングが必要なのです。

: 厩務員組合

今の問題はできるだけ早く解決するよう努力します。

【東海地方競馬厩務員労働組合 3名退室】

【全名古屋競馬労働組合（従事員組合）3名入室、自己紹介】

- ・従事員組合から以下のとおり概要説明。
- ・昭和24年、名古屋競馬場の開設以来、勤貞会として労働組合が発足していた。また、平成8年の8月に全名古屋競馬労働組合に改称し、現在上部団体の自治労全競労評議会という組織に統合し、もう1部、UIゼンセン同盟愛知一般同盟という上部組織に統合して、当組合としては2部加盟となっている。昭和61年4月、愛知県、名古屋市、豊明市の構成団体で組織され、愛知県競馬組合となり、私たちも就業要綱ができ、県に準じた従事員として、競馬とともに歩んで今日に至っている。

平成3年の売上ピーク時を始めとし、バブル崩壊から売上が下がり、平成14年度には3カ年の経営改善計画が出されたが、努力の成果が上がらず、今日を迎えている。昭和46年頃は2,000人近い組合員がいたが、現在は、本当に少数の51名で職場を支えながら、がんばっている。私たちの生活権は脅かされているが、それを乗り越えて、努力、協力を惜みず、雇用と生活を守るため、今後も微力ながら携わっていきたいと思っているので、存続に向けて、皆様のご協議をよろしく願いたい。

質疑

: 座長

最初に、この懇談会は名古屋競馬の存廃も含めて審議をしていますが、今後、どのようにしていったら良いと従業員の方々は考えているか。もし具体的な議論をしていけば、話してください。

: 従事員組合

今までに、ナイター等の計画があり、いろいろと当競馬組合の方たちが努力したにもかかわらず、ナイターを施行できなかったという経緯もある。地域住民の方に理解をいただき、やはり伝統ある名古屋競馬場を残して、小さくしてでも開催を続けていただきたいと思う。

中身としての経営状況は、逼迫しているが、そういうことも含めて、考え方の視野を変えてもらい、ナイターの施行も含め、競馬の体質、いろいろなものに対する考え方の視野を変えて、今後施行に取り組んでいただければと思う。

: 委員

3名の方の住まいはこの近くですか。それとも遠くですか。

: 従事員組合

私は港区の惟信町という所で、ここから車ですと5分ぐらいで、交通機関ですと10分程度の所に住んでいる。

: 従事員組合

私は、競馬場のすぐ北側の川間町という所です。

私たち労働組合としては、本当に存続の2文字で今までも協力してきた。昔は競馬は、水曜日から始まり火曜日休みでした。それが、中央競馬との関わりがあり、土日を愛知県競馬組合は避けるようになった。ウィークデーの月曜日から金曜日までの開催で、若

い人の集客力が少なくなったと思う。現在もそうだが、月曜日から金曜日の開催だと、年金受給者等、ファンそのものも高齢化してきている。若いサラリーマンの企業戦士は月曜日から金曜日では、なかなか来れないと思う。やはり、生き残るには、ナイター競馬に尽きると思う。

: 委員

もうひとかたに聞くが、皆さんナイターとっているが、近くに住んでいれば、その事について、近所の方々に何か動きとかPRとか、また、ナイターをやった場合、どうなるか意見を聞いたことがあるのか。

: 従事員組合

私は今、港区の藤高という、昔の南陽町に住んでいる。近所の皆さんにナイターの事を聞いたかと言われると、お友達にはナイターができれば来ていただけますかとか、ナイターができればいいですねという話をしたが、それが良いか悪いかの返事はなかったと思う。

: 従事員組合

やはり、地域の住民としては、以前に話があった時は反対だった。というのは、時間的に夜遅くなるということで、すぐ近くには学校もあり、川間町は反対だった。

: 委員

あなた方の職務内容が分からないので説明をお願いします。それと、かつて2,000人いて今は50人、同じ事をやっているのに、それだけの人数でやれる訳はないと思うので、その点につき説明してください。

: 従事員組合

私たちは、投票業務と業務関係という番組編成、その他諸々の職種があるが、主に、投票業務で勝馬投票券の発売、それと払戻し等の業務に就いている人が主であった。現在は51名だが、業務関係に就かれる従事員さんのほうが多く、足りない分についてはパートさんで補っている。

2,000人いた頃については、すべてが手売り業務で、1窓1人の売り方をしていた。現在、こんなに少ない人数でやれるのは、機械化が導入され、だいたい3台に1人の割合で払い戻し及び投票券の発売も行っているので、パートさんを含めてだいたい100人前後で運営している。

従事員は本当に少なくなって、たくさんいた時からみると、労働の密度が非常に厳しく、3人でやっていたものを2人でやったり、1人でやったりと、今非常に状況が厳しい中で、私たち組合員も一生懸命努力をし、現在に至っている。

: 委員

今の話の中で、番組編成とあったが、これはどういう仕事ですか。

: 従事員組合

従事員は、職員が馬の番組を組む際のサポートをしている。

: 競馬組合

番組編成とは、開催の始めに、600頭余の馬から出走申し込みを受け、それを5日間の開催なら、55レースに各クラスによって分け、レースを編成し、お客さんに出馬表の中で発表していくという作業です。女性の方は、その内、血統書を見たり、成績を

記入したり、出走投票の騎手の受付など、サポートの仕事をしていただいている。

: 委員

開催の日と場外の日とで、みなさんの必要人数と働ける人数はどのような関係になっているのか。

: 従事員組合

開催の時は、従事員として51名全員です。笠松との場間場外の時は、従事員が個人で、笠松で働きたいと申し込みをして、パートとして笠松の場間場外に出勤する。ただ、笠松との場間場外の発売の時には、投票所内を縮小し、発売する建物が決まっているので、23~27人程度となる。

広域場外等の発売時には、ナイターも含めて、大きいレースのある時には、雇用人数が増えるが、それ以外の時には、今の人数ぐらいでほぼやれる状況で、自分で申し込んで雇用されるという形です。

: 委員

2点伺う。平均的な基本日給は10,000円を超える金額と理解しているが、だいたい何時頃から何時頃まで働いているのか。もう1点は、調教師の方とか、騎手の方とか、厩務員の方と交流する機会があったり、名古屋競馬をどうしたらよいかについて話し合う機会が過去にあったのか。

: 従事員組合

平成15年度に経営改善計画の中間ということで、私たちも競馬を存続していかなければならないので、賃金カットを呑むこととして、今現在の賃金は、平均10,794円です。労働時間は、10時出勤で、17時10分までです。

もう1点については、東厩労という労働組合の方は、UIゼンセン同盟愛知一般同盟に加入しており、私たちも2部加盟でそちらに加入しているので、顔を見たり執行委員会に出席した時には話をする程度で、特別、この競馬について話し合ったことはなかった。

馬主さんとは、競馬振興協議会が発足されて、共に競馬存続でやっていこうということで誘いをいただいた。私どもも少ない人数で、競馬が無くなってはいけないということで、趣旨には賛同している。何かあって、競馬をどうしてもやっていかなければならないのであれば、労働組合として私たちも賛同しましょうと約束はしたが、正式な加盟はしていない。一度、組合事務所に来て、話をさせてもらった程度です。

: 委員

2つ質問する。1つは、あなた方は労働組合ですから、団体交渉を行っている。相手は誰ですか。

: 従事員組合

最高責任者の神田真秋（管理者）です。ただ、席につかれる方は、局長サイドということで団体交渉を行っています。

: 委員

あなた方の身分は、プライベートセクターというのか、民間の労働者ですか、それとも、行政法人なのですか。

: 従事員組合

私たちは、臨時従事員として愛知県に準じた形の身分ということをして仕事に就く時に言われた。継続雇用の臨時従事員です。

: 委員

もう1つの質問です。あなた方は競馬事業に携わって、働き続けてきたことについて、誇りを持っていますか。

: 従事員組合

持っています。

: 委員

広域場間場外で働く時には、個人的に申し込むそうだが、決める相手は誰ですか。例えば、笠松であれば、笠松のほうが決めるのか。

: 従事員組合

現在は、笠松で雇用されて、笠松から賃金をいただいている。

: 委員

今、開催は1ヶ月何日ですか。

: 従事員組合

1開催は5日です。1ヶ月に1開催の時もあれば、2開催連続の時もあるので、広域場外、それから笠松の場間場外も毎月雇用されるわけではないので、だいたい、12~13日ぐらいではないかと思う。

: 委員

みなさんは平均して、何年くらい勤めているのか。

: 従事員組合

平均勤続は34年で、ほぼみんなが34年以上勤めている。

: 委員

平成4年の頃に、女性競馬教室とか、今日の、レディーは火曜日入場が無料というのは、皆さんから提案された事ですか。

: 従事員組合

その件については、よくわからないが、おそらく主催者さんだと思う。

: 委員

その手伝いはしないのですか。

: 従事員組合

私たちは、勝馬投票券の発売と払戻し業務と、いろいろな部署の業務関係、馬を量る所とか馬が通っていく所へサポートとして働いているので、外回りについては一度も携わってはいない。ただ、昭和の時分、Gレース等が開催される時は、ティッシュを入場門の東西で配った記憶はある。

: 委員

窓口で働いていた時に比べて、今のお客さまは年齢層が変わったとか、女性の数は増えたりしているのか。

: 従事員組合

女性の方は、あまり増えていない。それと、入場者の方については、年金をいただいている方がほとんど占めていると思う。JRAとの交流競走の最初の頃には、武豊とか

有名な方が来るということで若いカップルもいらして下さったが、今はあまり見受けられないというのが感想です。

: 委員

女性も年金をもらっている人がたくさんいるのに、どうして少ないと思いますか。

: 従事員組合

馬にあまり興味がないのではないかと、個人的には思う。

: 委員

昔、お正月に場外をやっていたが、どうして止めてしまったのか知っていますか。

: 従事員組合

本場で本開催をやるようになったためだと思う。中京競馬場のほうだと、いろいろな施設等の問題があるが、深くは知らない。

: 委員

お正月はちょっと華やかですか。

: 従事員組合

いつもよりは華やかです。

: 委員

なぜ、こういうことを聞いたかということ、年中行事の1つとして、競馬場へ行こうかなということがあるかなと思ったので。例えば、お正月やお雛様、七夕等を利用して競馬場へ来ていただければと考えるが、こういう努力を誰がしたら良いと思いますか。

: 従事員組合

私たち働く者としては、やはり施行者の方がいろいろな宣伝等をして、それに私たちもこのようなイベントを地域の方や、自分の住んでいる周りの人たちに、宣伝できればと思っている。番組編成については、名称をつけたり等行っているが、宣伝となると、やはり施行者に作ってもらい、私たちはそれに付いて、一生懸命宣伝したり、会話する時にこういうイベントがあると言うことはできると思う。ただ、組合活動の中で行ってはいない。

: 従事員組合

これは、個人的な意見だが、みなさんが12月までに答申を出されるということで、存続に向けて私たちは切に願っている。ただ、どうしても、どんなことをしても駄目ということになった場合、若い未来、将来がある子供たちのために、ここ名古屋競馬場という名前を残していただいて、大学とかスポーツセンターとか、そういうものを誘致していただけるよう、よろしく願いしたい。

: 座長

私どもの権限を越えているが、ひとりひとり個人的に承りました。

【全名古屋競馬労働組合（従事員組合）3名退室】

【愛知県騎手会3名入室】

- ・騎手会から以下のとおり概要説明。
- ・騎手は賞金・手当がほとんど収入の源で、良い時期に比べれば、半分以上に下がっていて、それに伴って騎手全員の収入も半分以上になっている人が殆どである。また、

騎手は全体の平均年齢が、調教師さんや厩務員さんに比べて若い人ばかりで、これからの生活も大変で、ここ数年来、収入が下がり続けて蓄えもない人が殆どである。騎手以外の事は、ほとんど技術や技能を持っていない人ばかりなので、騎手全員が名古屋競馬を必ず存続させ、そのため、いろいろな打開策を早く、私どもに示してもらえれば、みんなのやる気も大分違ってくると思うので、騎手全員、存続してほしいという気持ちは同じだと思う。

質疑

: 座長

この懇談会は名古屋競馬の存廃も含めて審議をしているところだが、存続に向けて、どのような事をしたらよいか。騎手会としてまた個人として、何かあれば話してください。

: 騎手会

やはり、入場人員を増やすためには、ナイターが必要不可欠だと思っている。騎手全員もそう感じているはずだし、そういう意見もあちこちで出ているので、ナイターをしなければ、他のどんな策をとっても入場人員を増やすことは考えにくいので、お願いしたいと思っている。

: 委員

ナイターをやる場合に、最大の障害は地域住民から反対されてしまうという問題だと思う。それを乗り越えるために、騎手の皆さんで何かできる事、アイデアがありますか。

: 騎手会

強力な事はできないが、騎手を含めた関係者みんなで、地域の人にあたって説得に回ることなら、もし、ナイターをやる方向になれば、惜しみない協力をしたいと思っている。

: 委員

今、騎手の方々は29名だが、開催は月に5日間として、1日のレースが10頭立てで11か12レース。そうすると、だいたい、1日に3~4回乗るのか。

: 騎手会

人によって開きはあるが、平均するとそのようになる。

: 委員

そうすると、開催日以外は収入はないのですか。

: 騎手会

現在は、笠松競馬の開催日には、名古屋の騎手も笠松競馬に参加して、騎乗手当や賞金で収入を得ている。

: 委員

逆に笠松の騎手もこちらに来て乗ることがあるのか。

: 騎手会

あります。お互い交流は最近盛んです。

: 委員

笠松の騎手は何名ぐらいいるのか。

: 騎手会

確か25名くらいです。

: 委員

平均すると同じような人数で、同じような開催とすると、交流しても同じような感じがする。

先程から、笠松とのブロック化や交流について話題になっているが、騎手の皆さんからすると、今のお話を伺う限り、やってもやらなくても、同じという結論が出てくるが、そのことについてはどう考えているか。

: 騎手会

例えば、ブロック化以前、共通的な経費で余分に使っている部分もあると思うので、ブロック化すれば、かなりの削減ができると思っている。

: 委員

騎手の方々は調教師の方と所属契約を結んでいるが、あまり勝てなくて、契約を切られる方は年にどれくらいいるか。

: 騎手会

名古屋ではそのような制度はなくて、必ずどこかの厩舎に所属している。だから、ずっと負け続けたとしても騎手という職業ではあり続けられる状況である。

: 委員

女性の騎手は日本に何人くらいいるか。

: 事務局

地方競馬、中央競馬合わせて12名程度です。

: 委員

女性のため、男性と差別される面はあるのか。

: 騎手会

負担重量という面で1キロ女性の方が少ないということはあるが、それ以外は特にな

い。

: 委員

今後女性の騎手が増えるという見通しを持っているか。

: 騎手会

名古屋にも騎手見習いの女性が1人いるし、もちろん希望があれば、何人でも受け入れるつもりでいる。

: 委員

皆さんは厩舎に所属している。逆に厩舎の側からみると、所属の騎手がない調教師もいるが、それらの人たちとの騎乗の交渉等はどのように行っているのか。

: 騎手会

名古屋の場合、特に所属している厩舎の馬を優先的に乗らなければいけないという、仕来りみたいなものは、かなり前からなくて、馬主さんがこの人に乗ってほしいとか、たくさん頼まれたら、自分でその中から好きな馬を選ぶ等している。所属だからというトラブルや違和感はない。

どの馬に乗るかについては、実質的にはフリーと同じような状態です。

: 委員

今、笠松と実質的に交流をしている。これは騎手の場合、やろうと思えばもっと広範な交流も可能です。腕によっても違うとは思いますが、交流を盛んにすれば、乗れる人はたくさん乗れるけれども、乗れない人は本当に乗れなくなるという可能性があるが、そういう事について皆さんの雰囲気はどうなのか。もっと広域的に乗れたほうがいいのか、それとも、そうではないという考え方なのか。

: 騎手会

名古屋競馬だけで一番騎手が多い時には、56～57人いた。今は29人になったが、騎手が多い時とレース数はほとんどいっしょです。当時は、賞金・手当が良かったから、同じ数のレースを50人強で乗り合っても十分生活していった。もし、名古屋と笠松がブロック化して、人数が多くなったとしても、ナイターやブロック化して売上も上がり、賞金・手当も上がっていけば、別に人数が増えても構わないし、垣根がほしいとも考えていない。ぜひ、ブロック化をやってほしいと思う。

: 委員

これからの地方競馬の活性化には、交流は欠かせないと考えている。やはり、56～57人いた時と、今は29人で、これだけの人数だけでやっていたら、ファンにアピールするものはないと思う。だから、騎手のみなさんの腕を磨くにも、活発に交流して、それがまたファンが関心を持つのではないかと考えている。

名古屋競馬の騎手会の中では、今のままが良いというのが強いのか、それとも、他場へ出ていったり、皆に来てもらって、競争にはなるが、これから先は必要と思っているのか。

: 騎手会

もちろん、そういう活性化があればもっと競馬自体が盛り上がるし、ファンもおもしろくなって、見に来るのであれば、その方がすごく良いと思う。

: 委員

そういう観点でこれからブロック化が進められていくのではないかと考える。

今、殆どが預託契約だと思うが、調教師さんから貰える給料はどれくらいですか。給料プラス進上金ですか。

: 騎手会

そうです。人によってまちまちだが、基本的には新人が月60,000円で、新人のとれた独身の人が70,000円で、所帯を持った人は80,000円が基本となっている。

: 委員

調教をつけた時に若干の手当はあるのか。

: 騎手会

基本的に厩舎から給料を貰えば、どこを調教しても調教料は入らない。逆にここ数年は、厩舎から給料を貰わずに、調教した数によって、お金を貰っている人もいて、60,000～80,000円に固定はされていないが、ほぼ、同じ金額になると思う。このような方式でやっている厩舎もある。

: 委員

馬を調教した人がレースの時も、そのまま乗るわけではないのか。

: 騎手会

100%その人が乗るわけではない。

: 委員

すでに廃止になった競馬場がある。廃止された競馬場では騎手の方にはどのような対応がされているか、知っていたら教えてください。

: 騎手会

新聞紙上とかホームページで見た限りだが、他場へ移籍される方が半分ちょっとはいるが、はっきりは分からない。

: 委員

あとの半分の方はどうですか。

: 騎手会

騎手以外の職業に就いていると思う。

: 委員

転職の場合、辞める時に補償金等が出ているのか。

: 騎手会

競馬場によって金額はまちまちだが、多少は出ているような事を聞いている。具体的には分からない。

: 委員

賞金がたくさんあれば裕福になるであろうということだが、生活は不安定です。所帯は持てるのですか。

: 騎手会

本当に苦しいし、現時点の賞金・諸手当では、みんなこの先の生活自体を心配している状況なので、もし結婚したい人がいても踏みとどまっていると思う。

: 委員

騎手の方にはファンクラブがあるのか。

: 騎手会

名古屋にはない。笠松では、何人かファンクラブを持っているみたいです。特にファンクラブが出来たからといって、特別に援助があるわけでもない。

: 委員

このチケットにユニフォームがあります。このような経費はどうしているのか。

: 騎手会

名古屋の場合は、競馬場さんと個人で半々くらいの金額を負担して作っている。

: 委員

騎手の方の個人のPRはやってもいいのか。

: 騎手会

もちろん、いいと思う。吉田稔君からは、自分のホームページを立ち上げたいと聞いているが、今のところ、特にやっている方はいない。

: 委員

安藤勝己さんが活躍されているが、中央のジョッキーになるために試験があった。こういう制度が地方競馬振興の障害になっていると感じるようなことはないか。

: 騎手会

個人的な意見になるが、そのような垣根が全くなく、J R Aも名古屋も笠松もみんな  
で交流できたら、盛り上がるのではないかなと思う。

: 委員

実は安藤勝己騎手が中央に移る時、中央とのダブル免許が問題になった。その時に中央と地方に垣根があるが、地方の中にも垣根があると。特に賞金の高い南関東では、なかなか乗せてもらえないという話があった。だんだん交流が進んで、垣根がなくなってくると、賞金の高い所には人がたくさん来るが、例えば、九州とか高知とか賞金の安い所になると、なかなか人が来ない。一定の騎手を確保しないと競馬は成り立たなくなってしまう。

仮に、当番制で年に数回乗りに行くと、全国を自由に交流できる代わりに、賞金の安い所に助けに行く制度が、場合によっては必要になるかなと思う。例えば、そのような時に、みなさんは協力できますか。

: 騎手会

それだけオープンになると、賞金の高い所に有名ジョッキーも馬も集まることは予想  
できます。当番制をしないと、賞金の安い所はますます状況が悪くなる。騎手全員の気持ちは分からないが、個人的には、地方競馬全体が生き残る方法であれば、それに従いたいと思う。

: 委員

乗っていて、この名古屋競馬場はおもしろいですか。例えば、ファンにかなりアピール  
できると思うか。中央に遠征に行き、やはり名古屋は駄目かなと思うのか、それともやり方によっては、名古屋も捨てたものではないと思うのか。

: 騎手会

やり方によっては、捨てたものではないと思う。

: 委員

騎手の技量は、地方も中央も差はないと思う。むしろ、みなさんの方がうまいくらい  
です。ただ、客の入らない、またレースの番組もおもしろくない、活気がないでは、騎手のみなさんも不安になってきて、よしがんばろうという気がなくなって来るのではないかと思う。

今日、見ると、平日でも結構入っている。他の所では1,500人くらいしか入っていない。閑散としていて、いつも同じ騎手、同じ馬でやっているから、ファンもおもしろくないという声を聞く。やはり、名古屋市は6大都市の競馬場の1つで、長年やってきたし、何とかがんばってほしいと思う。どうですか。騎手としては一致団結しているのか。

: 騎手会

会長始め騎手は一致団結している。

: 委員

今、吉田稔君などは全国区になっているが、彼1人では駄目なので、皆がまとまって  
名古屋競馬をPRしていくと全国のファンがまた名古屋に目を向けると思う。笠松が一時そうだった。今後、そうあってほしいと思う。

【愛知県騎手会 3名退室】

議事

次第「5 第3回名古屋競馬のあり方懇談会について」

事務局より以下のとおり説明。

- ・開催日時は、8月5日の木曜日、午後1時から午後4時まで、場所は、アイリス愛知を予定している。
- ・検討内容は、愛知県競馬組合の経営診断、アンケート調査の結果等を予定している。
- ・経営診断については、中小企業支援センターに依頼し、現在、損益予測とか抜本的な改善事項を含む報告書を取りまとめ中である。
- ・アンケート調査については、愛知県競馬組合が5月にアンケート調査を実施し、現在、調査結果をまとめている。
- ・当日はこれらの結果報告をし、名古屋競馬の今後のあり方を検討していく。

【各委員、同意】

座長より第3回の懇談会の公開、非公開について以下のとおり説明。

- ・第3回は経営診断の結果について審議をする。したがって、これは公にすることにより、議論にいろいろと障害が出てくる、あるいは、議論をお互いに意見交換しにくいという事も考えられる。したがって、第3回については、審議は非公開とする。
- ・報道機関については、冒頭のカメラ撮りについて許可をする。

【各委員、同意】

農林水産部理事あいさつ

閉会

